

夢、私たちに。 わたしのひとこと



還暦を迎えて

嶺方 横澤 哲朗

「巳」は再生の象徴だそうです。長く低迷する日本経済が、再登板した自民党政権によって再生する年となるように、願わずにいられません。また村政を担う皆様の奮闘に期待します。

さて、私は昭和28年生まれで、今年還暦を迎えます。しかし、勤め人には還暦はゴールではなく、第二の人生のスタートです。自営の方からは、「何を悠長なことを言ってるんだ。」とぐざられそうですが、

今までの私は、日本経済の成長とともにあって、経済的に恵まれた世代だと思っています。取り立ててひどい苦勞をしたわけではないが、それなりでやれやれという気がします。

今年一年は、全力疾走するのではなくて、他人の生き方を参考に、ゆっくり次のステップを考えればよいのではないかと。

近いうちには、部落の役が回ってくるので、しっかりと地域貢献したいと思っています。



白馬に来て感じたこと

通 加藤 周

私は、岐阜県高山市の出身ですが、昨年4月に中部電力(株)に入社し、白馬村内の事業所に配属となりました。初めて白馬村を訪れたときは、もう4月だというのに雪があちこちに残っており、大変驚くとともに、この地がウィンタースポーツのメッカであることを実感しました。

社会人となり、企業活動を進める上で地域の皆さまとの交流が重要であると考えていたところ、今年度は春のお花見、夏の村民運動会、秋のお祭りや地域行事に参加させていただき、地元の方々との交流を持てたことを大変嬉しく思っています。山や川など豊かな自然に溢れ、ここまで地域の皆さまに温かく迎えられて、一緒にイベントを楽しませていただける地域はなかなかないものと思います。白馬で勤務できることにとても感謝しています。

今後も皆さんとのふれあいを大切にしながら、白馬村の良いところをドンドン見つけていきたいと思えます。



北海道からの手紙

沢渡 篠崎 美奈子

私は白馬に嫁いで今年で20年、2人の子供を育てています。子供たちは小学校からクロスカントリースキーを始め、大学生と高校生になった今でも競技を続けています。

ここ数年、12月になると北海道から手紙が届きます。それは北海道でスキー合宿中の子供たちからの手紙です。合宿中の近況報告と、スキーを続けていることへの感謝の言葉が書いてあります。いつもはメールでのやりとりをしていますが、手紙が届いたときは一文字一文字どんな気持ちで書いたのか…。それを考えるとなんだか感動し、子供たちを支えるサポーターとして、家族みんなで応援をしていかななくてはと感じました。

競技を続けていくことは厳しくつらいときもあると思いますが、それを乗り越えて大きく成長して行ってほしいと願っています。

編集後記

河津町と姉妹提携を結んで30周年を迎えた。先日、河津東小と白馬南小との交流会で、マンツーマンで指導に取り組む子供たちの姿を五竜スキー場で見ました。初めてスキーをする子供たちには、これほど面倒なスポーツはないかもしれない。しかし「早く滑れるようになりたい」、「なってほしい」とその気持ちが相通じた場合、上達は早い。倒れて動けない子を、どう立たせようかと必死になって取り組んでいる姿勢は、感動さえ覚える。一日で、ほとんどの子がどうにか滑れるようになるという。2月には村民100人が河津町を表敬訪問する予定である。

(田中 榮一)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 太田 修 |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 松沢 貞一 |

白馬議会だより 103号
平成25年1月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈲北辰印刷

〒3399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.vill.hakuba.lg.jp/assembly/assembly.html E-mail gikai@vill.hakuba.lg.jp